ともにあゆむ

2016年 8月 第23号

みなさま　残暑お見舞い申し上げます。体調はいかがですか。朝晩もなかなか気温が下がらず寝苦しい毎日です。どうぞお身体を大切にお過ごしください。

あゆむ会　個別相談業務開始のお知らせ

～東日本大震災及び福島原発事故で神奈川県近郊に避難されている皆さまへ～

お悩みごと お困りごと お聴かせください

よろしかったら、お話を聴かせていただけませんか？一緒に考え、専門家や行政機関につなげて解決の道を探っていきませんか？個別相談・訪問も行います。ご連絡ください。

フリーダイヤル（無料）でお電話ください TEL.０１２０－１２２－８８４

※電話受付は月曜から土曜の正午から午後７時までですが、すぐに電話に出られない場合があります。その際は伝言でご連絡先をお知らせください。

相談業務に協力する専門支援団体を紹介します

神奈川県弁護士会　副会長　苑田 浩之

こんにちは。神奈川県弁護士会の平成２８年度執行部です。

当会は、神奈川県内に事務所を持つ弁護士全員が加入する法定団体です。昨年度までは「横浜弁護士会」という名称でしたが、名称と中身を一致させてわかりやすくする等の理由から、平成２８年４月１日に「神奈川県弁護士会」に名称を変更しました。

当会は、被災者ホットダイヤルによる無料相談、参加費無料の原発事故損害賠償説明会＋個別相談会、支援機構の仮設住宅等での無料相談への弁護士派遣、各種シンポジウム等の開催等、様々な活動を行っております。

そして、これからも、当会は、名称変更を機に決意を新たにして、東日本大震災や福島第一原発事故によりお困りの皆様をバックアップしともにあゆむことができるよう、活動していきたいと思います。

神奈川県弁護士会のみなさん

ソクラテスプロジェクト　代表　逢澤 詳子

皆さんは透析医療というのをご存知でしょうか。慢性の腎臓機能障がいの方々が、週３回、4～5時間、生涯続ける医療のことです。現在、32万人の患者さんの命と暮らしを支えています。大きな災害では、そのライフラインの医療が寸断される危機に直面します。私たちは、その透析医療に関わる相談員の自主研究会が、1995年1月に患者さんや地域の専門職と一緒に立ち上げた団体です。東日本大震災後からは、神奈川県内の保健医療地域福祉の専門職団体の連絡会の事務局として、緩やかな連携の要を担っています。強みは、社会福祉理念を基盤とした、現場の専門職相談員たちの活動であることです。毎月開催している「寄り合い処」は、同郷の方との出会いは勿論、心と体と暮らしの相談員との出会いの場でもあります。出会いを大切に、これからも宜しくお願い致します。

問合せ；0120－961－092（平日9:00～17：00）

守りたい・子ども未来プロジェクト

神奈川県ユニセフ協会事務局　谷杉 佐奈美

東日本大震災の影響で神奈川県に避難している子どもとそのご家族を対象に、電話相談・親子交流会の開催・情報のお届けなどの支援活動を行っています。2011年の冬から始まった交流会は通算44回になりました。毎回子どもが楽しめる企画をセットして、その傍らで親御さん達が交流するスタイルです。その他にも、企業や団体によるご招待企画のコーディネイトや、昨年からは趣味や関心ごとで集まるサークル作りや、その運営のサポートも始めています。

偶数月に情報誌をお送りしますので、お子さんがいるご家庭でまだ登録されていない方は是非事務局までご連絡くださいね！！

「三浦半島ミカン狩り交流会」

報告　双葉町交流懇親会　７月９日（土）　吉野町市民プラザ

双葉町との共催で行われた交流会には「いわき・まごころ双葉会」の１０名の皆さまにいわき市からおいでいただき、神奈川に避難されている方々１３名の来場者との交流が和やかに行われました。また今回は双葉町伊澤史朗町長も駆けつけてくださいました。

首都圏にいる学生中心に活動するグループAlways With Smileのアカペラ演奏のすばらしい調べと共に始まり、伊澤町長より「双葉町の取り組み」というテーマでお話しいただくなど、大いに盛り上がる交流会となりました。

懇談コーナーでは、首都圏に避難生活される方々といわきからの皆さんで再会の歓声が会場内のあちらこちらであがっていました。

交流会の最後に双葉町民の歌を会場の全員で歌い、集合写真を撮影して盛会のうちにお開きになりました。MS

報告　キリン横浜ビアビレッジ工場見学あるけ　７月２８日（木）

参加者２７名で神奈川散歩カフェ・キリンビール横浜工場見学に行ってきました。JR新子安駅前に集合のあと１５分歩いてキリン横浜工場に到着。ロビーで受付とガイダンスを聞いたのち工場内へ。「キリンビール一番搾り」の製造過程の説明を詳しく聞き、最後のお楽しみ試飲会場へ。ひとり３杯まで飲むことが出来ました。

１０月１日からは工場設備がバージョンアップするそうでまた来てみたいと話が盛り上がり１２時頃解散しました。

TT

かながわ東北ふるさと・つなぐ会

あなたもぜひつなぐ会に入りませんか。詳細は同封の『かながわ東北ふるさと・つなぐ会』会員募集のチラシをご覧いただくかあゆむ会事務局まで（下記に記載）ご連絡ください。

次回の『つなぐ会寄り合い処』は９月３日（土曜日）午後2時から。

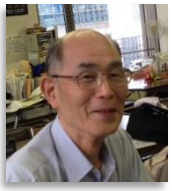
かながわ県民活動センター11階で行います。ぜひご参加ください。

橋本 洋子さん

皆様こんにちは。つなぐ会会員の橋本です。出身は会津で転勤により郡山、浪江町と。そしてここ横浜で又新しい暮らしに。良い人生を送る為には良い人間関係が必要です。ハーバード大学では７５年間に渡ってデータを集めました。幸せになるためには？と。その結果、人間関係の満足度が幸福な人生を与えるという事でした。最近のテレビでの受け売りですが。私はあゆむ会の皆様の温かい思いやりの有る笑顔に助けられて前向きに進む事が出来ました。でも中には『同じ故郷の人に会うのは後ろ向きになるからもう会いたくも無いし話したくも無い』と。前向きに生きる方法は人それぞれ。それでも孤独を感じる事があったらいつでもお出かけください。一緒に楽しみませんか～?

東日本大震災が発生し、被災の状況がＴＶや新聞に連日報道されるのを見聞きし、ボランティアが出来ないかと思っていた時に、「かながわ東日本大震災ボランティアステーション」設立を知り登録しました。月に1回以上のペースで宮城・岩手県へボラバスに乗り瓦礫の処理・仮設住宅での支援をし、それ以外の日には事務局にて活動をしておりました。

翌年の8月には、神奈川県内に避難された方々の支援の話がありましたので併せて避難者支援のボランティアを始め、それから4年が経ちました。最近は皆様の名前と顔が一致するようになりました。これからはみなし仮設の解除・帰還事業等でいろいろの問題が発生すると思います。困りごと・悩みごと等ありましたら一緒に考え解決の方向に向かいましょう。待ってま～す。



あゆむ会 事務局
友常　晶

あゆむ会事務局からお願い！！

あゆむ会が毎月発行する「ともにあゆむ」と他のチラシを同封して広報誌便発送作業を行っています。次回の発送作業は９月１６日（金）・１７日（土）です。

ご自宅からの交通費はお支払いいたします。詳細は事務局にご連絡ください。

よろしくお願いします！

NPO法人
かながわ避難者と共にあゆむ会
〒221－0835 横浜市神奈川区鶴屋町2－24－2
かながわ県民活動センター内レターケース339
電話：045－312－1121（内線4142）
ＦＡＸ：045－201－3533
メール：ayumu.tomoni@gmail.com
ホームページ：http://hinansha-shien.net/

広報誌『ともにあゆむ』の発行は「かながわボランタリー活動推進基金21協働事業負担金」対象事業です。
2016. 8. 19発行